

贈与年を記入

相続時精算課税制度のHPへ

麻布 税務署長 殿
平成 21 年 3 月 10 日提出

平成 20 年分贈与税の申告書

FD 4 7 2 2

提出用

〒 XXX-XXX (電話 XXX - XXX - XXX)	住所 港区六本木〇丁目〇番〇号
フリガナ ナカジマ タロウ	氏名 中島 太郎
生年月日 3 4 3 年 0 7 月 0 7 日	職業 会社員

申告書提出年月日	財産	事案
災害等延長期限	細目	処理
出国年月日	コード	訂正
死亡年月日	関与区分	修正

受贈者(子)についての必要事項を記入します。押印も忘れずに。



明治 1、大正 2、昭和 3、平成 4

(単位は円)

贈与者の住所・氏名(フリガナ) 申告者との続柄・生年月日	取得した財産の明細				財産を取得した年月日	
	種類	細目	利用区分・銘柄等	数量	単価	財産の価額
住所 フリガナ 氏名 生年月日	所在地					平成 年 月 日
住所 フリガナ 氏名 生年月日						平成 年 月 日
住所 フリガナ 氏名 生年月日						平成 年 月 日
財産の価額の合計額(課税価格)					①	
配偶者控除額 (右の事実該当する場合には、 <input type="checkbox"/> 私は、今回の贈与者からの贈与について初めて贈与税の配偶者控除の適用を受けます。)					②	(最高2,000万円)
基礎控除額					③	1 1 0 0 0 0 0
②及び③の控除後の課税価格(①-②-③)【1,000円未満切捨て】					④	0 0 0
④に対する税額 (申告書第一表(控用)の裏面の「贈与税の速算表」を使って計算します。なお、平成17年分以前に住宅取得資金等の贈与の特例を受けている場合には、「住宅取得資金等の贈与の特例に係る贈与税額の計算明細書」の⑩の金額)					⑤	
外国税額の控除額 (外国にある財産の贈与を受けた場合で、外国の贈与税を課せられたときに記入します。)					⑥	
差引税額(⑤-⑥)					⑦	

暦年課税に係る贈与財産がない場合には記入する必要はありません。

第一表(平成20年分以降用)

(相続時精算課税の申告をされる方は、申告書第二表と一緒に提出してください。)

相続時精算課税分 (「暦年課税分」のみ申告される方は、⑧及び⑨の額の記入の必要はありません。なお、「相続時精算課税分」の申告をされる方は、第二表「平成 年分贈与税の申告書」)	
Ⅱ 特定贈与者ごとの課税価格の合計額 (第二表「平成20年分贈与税の申告書(相続時精算課税の計算明細書)」の⑩の金額の合計額)	⑧ 4 0 0 0 0 0 0 0
特定贈与者ごとの差引税額の合計額 (第二表「平成20年分贈与税の申告書(相続時精算課税の計算明細書)」の⑪の金額の合計額)	⑨ 1 0 0 0 0 0 0
Ⅲ 合計	
課税価格の合計額(①+⑧)	⑩ 4 0 0 0 0 0 0 0
差引税額の合計額(納付すべき税額(⑦+⑨))【100円未満切捨て】	⑪ 1 0 0 0 0 0 0 0
納税猶予税額 (「農地等の贈与税の納税猶予税額の計算書」の⑨の金額)	⑫
申告期限までに納付すべき税額(⑪-⑫)	⑬ 1 0 0 0 0 0 0 0
この申告書が修正申告書である場合	
差引税額の合計額(納付すべき税額)の増加額 (⑬-第三表「平成 年分贈与税の修正申告書(別表)」の⑪)	⑭
申告期限までに納付すべき税額の増加額 (⑬-第三表「平成 年分贈与税の修正申告書(別表)」の⑬)	⑮

2ページ目の の金額を転記

2ページ目の33の金額を転記

作成税理士の事務所所在地・署名押印・電話番号

印

- 税理士法第30条の書面提出有
- 税理士法第33条の2の書面提出有

通信日付印
確認者 印

平成20年分贈与税の申告書

住宅資金特別控除の特例の適用を受けるので、記入します。

受贈者の氏名 中島 太郎

第二表

(平成20年分以降用)

(第二表は、必要な添付書類とともに申告書第一表と一緒に提出してください。)

私は次の規定による特例を受けます(□の中にv印を記入してください。)

- 租税特別措置法第70条の3第1項(相続時精算課税選択の特例)
□ 租税特別措置法第70条の3第2項(特定同族株式等に係る相続時精算課税の特例)
□ 租税特別措置法第70条の3第3項(特定同族株式等に係る相続時精算課税の特例)
☑ 租税特別措置法第70条の3の2第1項(住宅資金特別控除の特例)

特定贈与者(親)についての必要事項を記入します。

左の特定贈与者から取得した財産の明細 (単位は円)
種類 細目 利用区分・銘柄等 数量 単価
所在場所等 固定資産税評価額 倍数

Table with 3 columns: Property details (住所, 種類, 数量), and Date/Value (財産を取得した年月日, 財産の価額). Includes address: 港区赤坂〇丁目〇番〇号.

Table for Donor Information (氏名, 続柄, 生年月日). Donor: 中島 秀吉, 父, 3/12/05.

Table for Tax Calculation (課税価格の計算). Rows 16-19: Total value, housing acquisition funds, family shares, and other amounts.

Table for Housing Fund Special Deduction (住宅資金特別控除額の計算). Rows 20-23: Total deduction, residual, and carryover amounts.

Table for Special Deduction (特別控除額の計算). Rows 24-29: Special deduction, residual, and carryover amounts.

Table for Tax Amount Calculation (税額の計算). Rows 30-33: Taxable amount, tax rate, foreign tax credit, and final tax amount.

忘れずに、記入します。

Table for Donor Information (上記の特定贈与者からの贈与により取得した財産に係る過去の相続時精算課税分の贈与税の申告状況).

(注) 上記の欄に記入しきれないときは、適宜の用紙に記載し提出してください。

Header information fields: 税務署整理欄, 整理番号, 名簿, 届出番号, 確認.

(注) ※印欄には記入しないでください。 (資5-10-2-1-A4統一) (平20,10)

◎ 上記に記載された特定贈与者からの贈与について初めて相続時精算課税の適用を受ける場合には、申告書第一表及び第二表と一緒に「相続時精算課税選択届出書」を必ず提出してください。